

天溪 2015 年「ミルフォードトラックとマウントクック 11 日間」

第 2 部

「世界で最も美しい散歩道」と言われるミルフォードトラックを 4 泊 5 日の日程で散歩ならぬトレッキングして来ました。この地(フィヨルドランド地方)は年間降水量が 6000mm 以上の多雨地帯で 1 年の半分は雨、雪が降るとか。この降水量により作り出される氷河は勿論のこと、数々の滝や深く生い茂るシダの群生は南緯 45 度にして熱帯のジャングルを思わせます。特にトレック最終日の光景は、恐竜は出てきませんが中米コスタリカを舞台にした映画「ジェラシックパーク」の雰囲気を感じていただければと思います。



(マッキノンパス 3/8 日)

○ミルフォードトラック初日

天気予報は今日から 3 日ほど曇り・雨マーク。朝から厚い雲に覆われ、小雨がパラつき気持ちは沈み気味。総勢四十数名(満席)は憧れのミルフォードトラックへ向けクイーンズタウンを出発。ところが、ティアナウでランチを取っているところからお日様が顔を出し、これから始まる全長 52Km のトレッキングへ向けテンションがアップ。下船して靴底を消毒し、トラック初日は徒歩 1.6km、30 分のお手軽散歩で最初のロッジ、グレードハウスへ到着。ディナーの後は国別に分かれて恒例の自己紹介、結構皆さん英語で頑張っておられました。



(グレードハウスの先 3/7 日)



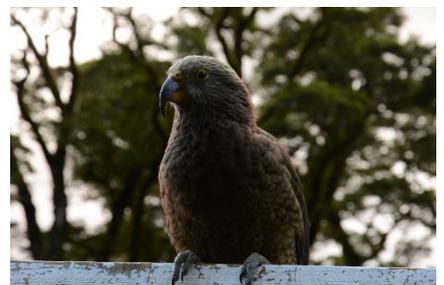
○ミルフォードトラック 2 日目

天気が激変し、夜半から降り出した雨は朝まで続き、雨具を付けて出発。ところが進むにつれ厚い雲がとれ、連山が現れ快晴に。雨が降ったせいか流れ落ちる滝は水量を増し、陽に照らされた岩盤に幾筋もの白線が輝きました。

余談として、今夏のカンタベリー地方は干ばつだったそうですが、ここフィヨルドランドは川に倒れる倒木や巨大キノコなど大雨が降った形跡が幾つも有りました。たいして離れていないのですが、右下鳥の写真はケア(オウム目) 悪戯小僧でバックパックのファスナーを引き開け、内部から物を取り出す賢者不届き者です。



(クリントン溪谷 3/7 日)



○ミルフォードトラック 3 日目

今年の皆様がラッキーだったのは夜中に雨が降った事。昨夜も可也の雨が降り、出発時はまたしても重めの天候に。今日はこのコース唯一の山岳稜線歩行が楽しめるマッキノン峠越え。高度を上げ、峠に近づくにつれ雲が流れ、マッキノンのレリーフでは氷河をいただく連山が幻想的に現われました。シェルターでランチを取り、標高差約 900m を一気に下りクインティンロッジへ。ここから世界第 5 位の落差 580mを誇るサザーランド滝まで往復しました。



(マッキノンレリーフ 3/8 日)



(マッキノンパスから 3/8 日)



(サザーランド滝 3/8 日)

○ミルフォードトラック最終日

またまた朝から重めの天気も今日は高低差の少ない谷合歩行、と言っても 21.5Km有ります。鬱蒼としたシダ類や狭間を

流れ落ちる滝は昨日の山岳歩行と対照的に静寂にして重厚な落ち着きが有ります。今年は何故か分かりませんが皆様猛烈なスピードで歩かれ、お1人を除き午後3時発のボートでサンドフライポイントを後にしました。もう少しこの密林と小鳥のさえずりを楽しんでいただきたかったのですが……。

※最終日はミルフォードサウンドのボートクルーズが有りました。しかし、何故か筆者カメラのバッテリーがスカラカン。残念ですが写真はナシ、すみません！



(トラック最終日 3/9 日)



○毎度おなじみ トラック・チャート



次回は所をコスタリカより少し南のペルーに移し 5月11日発 「インカ道マチュピチュとナスカ地上絵 12日間」をお伝えします。

※インカ庁によるインカ道の入山受付が1月8日から始まりました。この地はトレッカー・ポーター・ガイド全て合わせ1日500人以下に厳しく入山規制されています。今年は驚いた事に1月12日迄の5日間で人気月の5月は殆ど満席・受付終了に。キャンセル待ち、追加募集は一切無いので天溪ツアーもこの時点で募集終了。

日本では想像出来ないトレッキングのビッグポイントが地球の裏側に存在します。尚、3月末現在 既に9月分まで満席です、為念。